

エコアクション21

環境経営レポート

2021年4月～2022年3月



富士アルミ管工業(株)

作成日:2022年 7月8日

<http://www.fujialumi.co.jp>

2021V17

★★ 目次 ★★

【報告内容】		頁
1.環境経営方針	2
2.事業概要	3
3.環境経営目標	4
4.環境管理体制(組織図)	5
5.環境活動計画	6
6.主な活動内容(1,2)	7
7.実績評価及び次年度の取組内容	9
8.環境法規への遵守状況	11
9.全体的評価と見直し	12

環境経営方針

当社は、企業として地域の発展に貢献するとともに環境の維持向上に配慮した事業活動を行うべく以下の環境経営方針を制定する。

1. 環境関連の法規制及び当社が同意した、その他の要求事項を遵守する。
2. 企業活動すべての段階で省資源・省エネルギー・リサイクルを考慮し、廃棄物の削減に取り組む。
3. 化学物質の管理を徹底し、大気（CO₂含む）・排水等環境汚染の予防に努める。
4. 環境経営目標・環境経営計画を定め継続的改善を行う。
5. 環境経営方針を全員に周知させると共に、環境教育を通して意識の向上に努める。
6. 取引先及び地域と環境に関する情報交換を継続的に行う。
7. 環境に配慮した製品作りに取り組む。
8. グリーン購入の推進を図る。

2021年 6月 15日

富士アルミ管工業株式会社

代表取締役社長

越海 広



事業概要



1.事業所の名称及び代表者名

富士アルミ管工業株式会社
三芳工場(認証登録対象事業所)
山形工場(ISO14001取得)
代表取締役社長 熱海 広

2.事業所の所在地

三芳工場 埼玉県入間郡三芳町北永井822
TEL:049-258-3896

3.事業内容

アルミニウム引抜管の製造販売・OA機器部品(アルミスリーブ)の切削加工
(認証登録範囲)

4.環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者:新井 誠治(工場長)
環境推進事務局:保谷政明(品証兼環境担当)/吉田 勤(管理部)

連絡先 :TEL 049-258-3896
:FAX 049-259-8324

5.事業規模

※3月末時点の従業員数です。(役員除く)

	三芳工場
敷地面積	6,727m ²
従業員数	45名
主要製品生産量	2021年度:659t(22,188kpcs)

6.対象範囲

認証登録対象組織
三芳工場(所在地は上記に記載)

認証登録対象活動
登録対象組織で行う事業活動
(アルミニウム引抜管の製造販売・OA機器部品[アルミスリーブ]の切削加工)

環境経営目標

当社が制定した「環境方針」及び「環境への負荷状況」を基に、以下に示す環境負荷削減目標を掲げ、環境改善活動を行う。

環境活動計画の進捗状況の確認・評価を毎月の環境委員会でを行う。

全ての従業員がエコ21の活動に積極的に参加するよう、従業員に対する教育を行う。

中期目標(2021年度～2025年度)

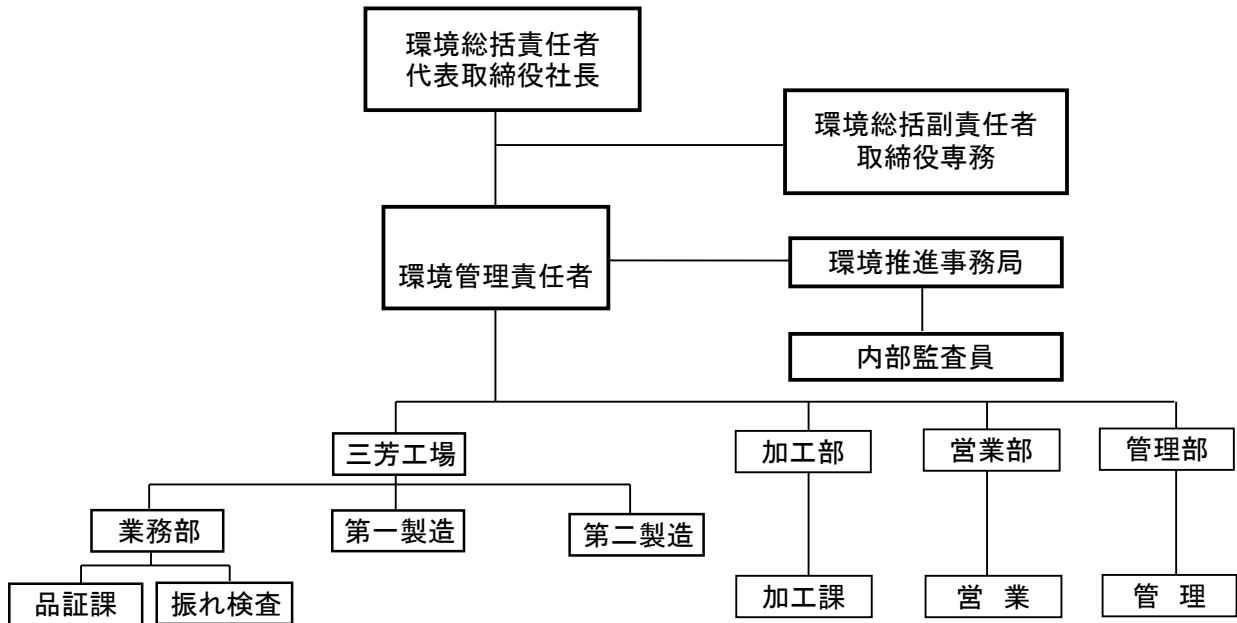
基準年:2020年度

項目	目標
電力使用量の削減	基準年を100%として2025年度までに9.0%削減
水使用量の削減	基準年を100%として2025年度までに9.0%削減
廃棄物の削減	基準年を100%として2025年度までに9.0%削減
二酸化炭素排出量の削減	基準年を100%として2025年度までに9.0%削減
化学物質使用量の管理及び調査	最新版による適正管理、含有化学物質不適合0
グリーン購入の推進	環境に配慮した事務用品を積極的に購入・検討
製品における環境配慮	歩留り改善による環境負荷の低減

期間目標(2021年度)

項目	目標
電力使用量の削減	前年度を100%として2021年度に5%削減
水使用量の削減	前年度を100%として2021年度に5%削減
廃棄物の削減	前年度を100%として2021年度に5%削減
二酸化炭素排出量の削減	前年度を100%として2021年度に5%削減
化学物質使用量の管理及び調査	最新版による適正管理、含有化学物質不適合0
グリーン購入の推進	環境に配慮した事務用品を積極的に購入・検討
製品及びサービスにおける環境配慮	歩留り改善・環境に配慮した原材料の使用

環境管理組織図及び実施体制



【実施体制】

担当者	役割、責任及び権限
環境総括責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の策定 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 EA21及び製品含有化学物質管理の各活動計画を実行するための責任者の役割、責任権限を明確に定め構築した体制を全員に周知する。 実施体制において環境管理責任者を任命しEA21及びグリーン調達の要求事項を満たし継続的な維持管理の状況報告を受け必要な改善指示をし、諸問題を把握する。
環境総括副責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境総括責任者の業務を補佐する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21及びグリーン調達の要求事項を満たす環境経営システムを構築・運用し、その状況を代表者に報告する。 環境経営活動目標及び計画の策定 是正、予防処置の推進と管理
環境推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全活動の計画提案と推進及び改善の提言 関連官公庁、団体より環境関連法規・条例・その他規制の最新情報を入手 環境管理文書(手順)作成と管理及び教育訓練
環境推進チームリーダー	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の推進計画に対し進捗状況の把握 環境推進チームに対して具体的実施項目の提案と推進及び改善の提言 環境推進チームの月別データ収集 毎月の委員会で状況報告(進捗・諸問題など)
環境推進グループリーダー	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の推進及び活動計画の具体的実施項目進捗管理 グループ内の社員全員への周知徹底と問題点の吸い上げ 必要に応じて招集される環境委員会へ出席し活動報告 月別データのまとめ及び具体的実施項目のチェック

環境経営活動計画

2021年4月～2022年3月

活動項目	計画内容
1. 電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ①チェックシートによる節電チェック ②冷暖房の省エネ対応(冷房:28℃, 暖房22℃) ③歩留向上による製造設備の効率稼働 ④製造設備に対する適切なメンテナンスの実施 ⑤乾燥処理とひずみ取り処理の連続化 ⑥電気炉の運転方法の見直し ⑦冷暖房機器等の不在時停止の徹底 ⑧休憩場所の集約化による節電 ⑨照明・冷暖房の間引き ⑩デマンド監視システムによる見える化 ⑪コンプレッサーの吐出圧力の見直し・・・可能な箇所の減圧
2. 油類等(ガソリン、燃焼用灯油、ガス)使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ①使用済み油類の再利用 <ul style="list-style-type: none"> (1)洗浄用灯油 (2)引抜き加工用潤滑油(第二工場) ②油類使用の削減 <ul style="list-style-type: none"> エコドライブ・アイドリングストップの徹底 石油ストーブの不在時消火の徹底等
3. 水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ①節水を促す表示の取付け ②節水コマの継続使用 ③チェックシートによる水漏れチェック強化(元メータのパイロット確認)
4. 廃棄物の削減及び管理	<ul style="list-style-type: none"> ①発生する廃棄物量の削減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・素管梱包資材の返却 ・廃棄物の再利用(軍手、場内移動用のビニール) ・歩留向上によるスクラップの削減 ②廃棄物の分別の徹底 エコキャップ:ペットボトルの蓋 ③紙を使わない情報の伝達の促進 ④印刷枚数の削減(FAXの選択印刷等) ⑤処分場の状況確認
5. 二酸化炭素排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ①主な環境活動計画(項目の1)による削減 ②ガソリン使用量の削減
6. 有害物質の管理・使用量削減及び調査(法規制の確認含む)	<ul style="list-style-type: none"> ①購入品の有害物質含有の監視 ②化学物質関連調査 ③SDSの入手
7. グリーン購入 環境に配慮した製品(エコ商品)購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①エコ対象商品購入の品目を増やす
8. 環境活動の周知と客先の情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ①環境ニュースの発行 ②客先等の活動情報収集
9. BCP体制構築の為の調査	情報収集継続

改善活動及び継続的活動

1 今年度の新改善、新活動

● K社向け製品の加工及び外観検査不良率低減

アイテム	アイテム1				アイテム2			
	前年度	0.57%	今年度	0.48%	前年度	0.25%	今年度	0.28%
加工	前年度	0.57%	今年度	0.48%	前年度	0.25%	今年度	0.28%
外観	前年度	1.05%	今年度	0.47%	前年度	1.08%	今年度	0.21%

スクラップ量が約265kg削減、金額で約22万円削減

改善内容:①面取り加工方法の変更、②切削回数の変更、③加工方向の変更、
④キズ防止の為 プログラム変更、⑤加工機回収側滑り台キリコ対策等

● 外径キズ対策:第一5号抽伸機バックローラーを鉄からシリコンに変更

抽伸した製品の年間キズ不良率の改善:前年度0.51%目標0.2%⇒実績0.23%
と目標には達しなかったが、大幅に改善出来ました。

● C社向け製品の振れ不良率低減:前年度;4.24%、目標;3.00%

材料メーカ変更により改善今年度不良率:1.99%となり、1,440kgの省資源化、
金額換算で約72万円の削減になりました。

● 営業の夏の社内業務時の服装を現場と同様にポロシャツに変更

● 今迄メッシュカゴは産廃として処理していたが、業者を見つけ有価で買い取って頂いた。

● 営業携帯電話のプラン変更による経費の削減

2 継続的实施(一部)

● 抽伸油の濾過・再利用(今年度は13千円分再利用された)

● コピー用紙の使用枚数の削減、裏面の再利用

● エコ商品(環境配慮製品)購入の推進

● アルミスクラップ、ラップ・段ボール・ビニール等のリサイクル

● 素管梱包資材(ビニール・緩衝材等)の返却

● Y社向け段ボールのリユースによる廃棄物の削減

● 毎月環境ニュースを発行・掲示

● 熱処理とひずみ取りの連続化

● 場内移動用のビニールシートの再利用

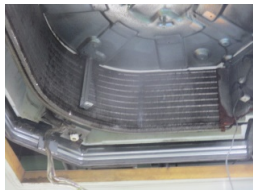
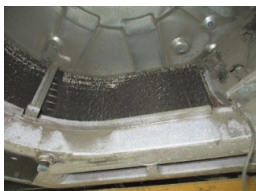
● 水道元メーターのチェック(パイロットの確認含む)

● グリーン調達関連最新版管理

● 含有化学物質調査対応(ChemSHERPAによる回答含む)

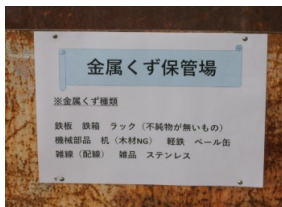
● 購入先CMS調査

加工課内天井エアコンの洗浄 2021年7月15日



天井エアコンのフィンが目詰まりしていた為、3台の洗浄を業者にて実施。

産廃置き場の改善(分別管理) 2021年8月4日



産廃の種類を、プラケース、金属くず、その他に分別しました。

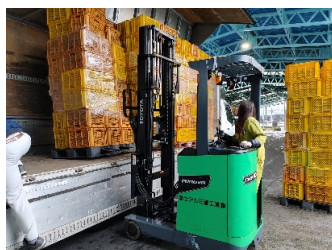
消防訓練 2021年8月11日



カナイ消防機材石井様の御指導のもと消火器・消火栓の取扱い説明及び模擬消火訓練を実施しました。水消火器使用10名、消火栓放水20名。終了後、各自職場の消火器、消火栓の位置を確認した。

欠席者には、報告書のコピーを渡し、周知した。

破損カゴ532個をリサイクル 2022年1月11日



ウム・ヴェルト株式会社による回収

以前は産廃費用を払って廃棄していたものを有価で売却しました。回収後は、粉碎処理され、プラスチックの原料になります。



株式会社ウム・ヴェルトのホームページより

環境活動実績評価(1)

2021年4月から2022年3月の環境目標に対する取組結果の評価は、以下のとおりです。

評価基準 ○⇒評価達成(5.0%以上)、△⇒達成不十分(0~5.0%未満)、×⇒未達成(増加)
 原単位に関しては ○⇒目標以下、△⇒達成不十分(0~5.0%未満)、×⇒未達成(増加)

削減項目	単位	基準量(*1)	目標 5.0%減	実績	削減量	削減率 %	評価 実績/ 原単位
電力使用量	千kwh	792	753	768	24	3.1	△/○
水使用量(*3)	m ³	720	684	592	128	17.8	○/○
廃棄物排出量	t	156	148	132	24	15.3	○/○
二酸化炭素排出量(*2)	t-CO ₂	440	418	446	(6.2)	(1.4)	X/○

(*1)基準は前年度(2020年度)の【朝霞+三芳】の実績

(*2)CO₂排出係数 ミツウロコグリーンエネルギー 0.393kg-CO₂/kwh 2021/4~2022/3

2020年度の実績を2020年度の排出係数に換算

(*3)昨年の水漏れをイレギュラーとして6、10、2月を40tに修正した基準量

【評価のコメント】

・電力使用量:

5.0%が目標だが、3.1%削減で目標未達であった。今年度は生産量(本数)が昨年度の約26%増で有った為、実数では削減出来なかったが、原単位では達成できています。

原単位目標4.27 kg/10万本、実績は3.46 kg/10万本 19%削減 達成

・水使用量:

目標の5%を大きく上回り、17.8%削減された。

原単位目標3.88 kg/10万本、実績は2.67 kg/10万本 31%削減 達成

・廃棄物排出量:

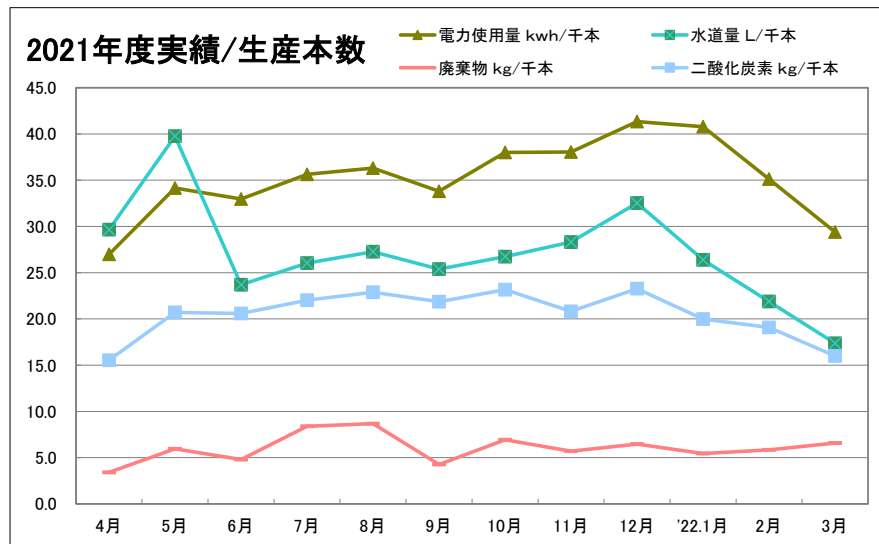
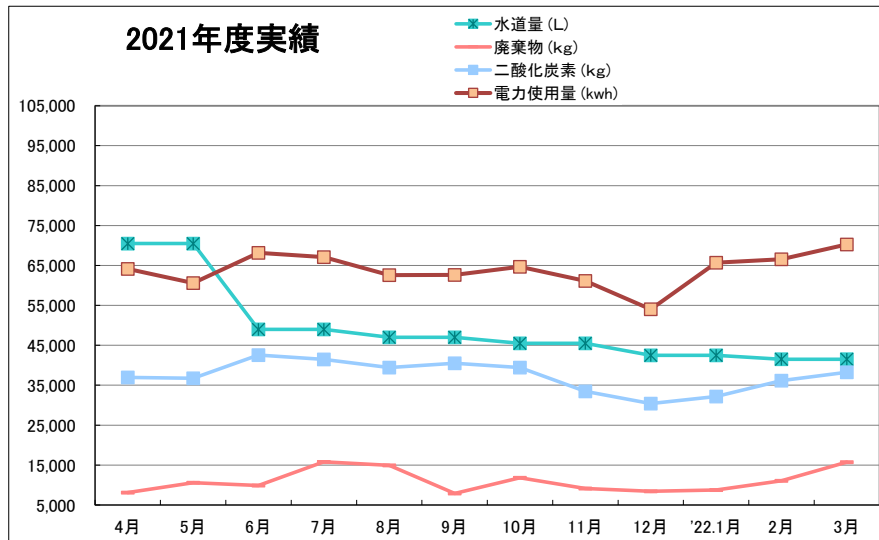
目標の5%を大きく上回り、15.3%削減された。

原単位目標0.84 kg/10万本、実績は0.60 kg/10万本 29%削減 達成

・二酸化炭素排出量:

5.0%が目標だが、逆に1.4%で増加してしまい目標未達であった。今年度は生産量(本数)が昨年度の約30%増で有った為、実数では削減出来なかった。原単位目標では達成できています。

原単位目標2.37 kg/10万本、実績は2.01 kg/10万本 15%削減 達成



実績評価及び次年度の取組内容

基準年を2020年とした。

環境活動計画	取組結果と評価(2021年4月から2022年3月)			
	環境目標	実績	評価	次年度の取組内容
1.電力使用量の削減 ①チェックシートによる節電チェック ②冷暖房の省エネ対応(冷房:28℃, 暖房22℃) ③製造設備に対する適切なメンテナンスの実施 ④電気炉の運転方法の見直し ⑤工場の集約化の効果(食堂LED化) ⑥デマンド監視システムの見える化 ⑦省エネ機器の導入検討 ⑧工場天井照明の節電	5.0%削減 継続実施 継続実施 各工場で行う ピーク電力の削減 電力量の削減 継続実施 電力量の削減 電力量の削減	3.1%削減 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 525kwh/年 継続実施 蛍光灯のLED化計画 休憩時等の消灯	△ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	前年度比0.5%削減 継続実施 継続実施 継続実施(各現場で) 継続実施 — 継続実施 継続実施 第一:勤務時40~50%の節電
2.油類等(ガソリン、燃焼用灯油、ガス)使用量の削減 ①使用済み油類の再利用 (1)洗浄用灯油 (2)引抜き加工用潤滑油 ②油類使用の削減 (1)ドレンパン清掃と機械の油漏れ原因調査 (2)エコドライブ・アイドリングストップの徹底	継続実施 蒸留再生器 濾過して再利用 毎月清掃・調査	継続実施 3台稼働中 30ℓ再利用(12.9千円) 毎月清掃・調査実施	○ ○ ○ ○ ○	継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施
3.水使用量の削減:基準 2019年の実績-807t ①節水を促す表示の取付け ②節水コマの継続使用 ③チェックシートによる水漏れチェック ④工場集約化による使用量削減 ④その他の節水対策の検討	5.0%削減 継続実施 継続実施 継続実施 削減 三芳:元バルブ調整	17.8%削減 継続実施 継続実施 継続実施 60.0⇒49.3m ³ 継続実施	○ ○ ○ ○ ○ ○	前年度比0.5%削減 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施
4.廃棄物の削減・管理 ①発生する廃棄物量の削減対策 ・素管梱包資材の返却 ・産廃からリサイクルへ ・廃棄物の再利用(油類、軍手) 場内移動用のビニールの再利用追加 ・歩留向上による 第一:5号抽伸機キズ対策 廃棄物の削減 第二:C社向け1アイテム ・工場の集約化による削減効果 ②廃棄物の分別の徹底(エコキャップ追加) ③印刷枚数の削減(FAXの選択印刷等) ④最終処分場の確認(優良業者の為情報収集にて確認)	5.0%削減 継続実施 継続実施 廃棄物の削減 継続実施 ビニールの再利用 不良率P=0.2% 不良率P=3% 2020年度156トン 継続実施 継続実施 水銀灯、カゴ	15.3%削減 継続実施 ビニール等の返却 カゴのリサイクル 継続実施 継続実施 P=0.23% P=1.99%,1.14t削減 生産量UPでも削減 継続実施 継続実施 株ウム・ヴェルト	○ ○ ○ ○ ○ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○	前年度比0.5%削減 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 3号抽伸機打痕対策 C社振れ改善 — 継続実施 継続実施 実施予定
5.二酸化炭素排出量の削減 * ①主な環境活動計画(項目1)による削減 食堂のLED化による削減量	5.0%削減 継続実施 CO2の削減	6.2%増加 1の削減による 206kg/年	× ○ ○	前年度比0.5%削減 継続実施 —
6.有害物質の管理・使用量削減及び調査 法規制の確認含む。含有化学物質不適合件数 【目標:「環境に配慮した原材料の使用」の為に】 ①購入品の有害物質含有の監視(REACH等独自調査) ②化学物質関連調査:客先よりの調査依頼 ③SDSの入手 ④臭素系洗浄剤の使用量削減	継続実施 不適合0件 継続実施 継続実施 削減	継続実施 不適合0件 継続実施 33件 継続実施 使用量0、設備撤去	○ ○ ○ ○ ○ ○	継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 —
7.グリーン購入 ・環境に配慮した製品(エコ商品)購入の推進	継続実施	事務用品購入額の 9.19%	○	継続実施
8.環境活動の周知と客先の活動情報収集 ①各チームの毎月実績を従業員に周知 ②客先等の活動情報収集	継続実施 継続実施 継続実施	継続実施 環境ニュースの発行 調査実施	○ ○ ○	継続実施 継続実施 継続実施
9. BCP体制の構築の為の調査	情報収集継続	情報収集	○	情報収集継続

*2021年度の計画はミツウロコグリーンエネルギーの2020年度の調整後排出係数を使用 **中期計画変更**

0.393kg-CO2/kwh

○:目標達成, ×:目標未達, △:活動中

環境法規への遵守状況

活動を行うに当たって関連する環境法規と取り組み状況を下表に示します。

関連法規	対象	届出、規制等	遵守状況
1.大気汚染防止法	ばい煙発生施設	<ul style="list-style-type: none"> ●設置、変更の届出 ●ばい煙等の排出規制 煤煙発生作業無し	○
2.下水道法	特定施設無し	<ul style="list-style-type: none"> ●BOD, 浮遊物質量等の排出規制 	○
3.廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃油等	<ul style="list-style-type: none"> ●産業廃棄物の運搬、処分の委託に関する基準(マニフェスト管理) 	○
		<ul style="list-style-type: none"> ●最終処分場における廃棄物処理確認(努力義務)優良業者に付き公開情報の入手 	○
4.騒音規制法	コンプレッサー	<ul style="list-style-type: none"> ●設置、変更、廃止の届出 ・「特定施設設置届出書」9/27届け出 ●敷地境界位置による騒音測定 	○
5.振動規制法	コンプレッサー	<ul style="list-style-type: none"> ●設置、変更、廃止の届出 ・「特定施設設置届出書」9/27届け出 ●敷地境界位置による振動測定 	○
6.消防法	少量危険物第4類	<ul style="list-style-type: none"> ●貯蔵所、取扱い所等の設置、変更の届出 ●消防設備の設置 ●危険物の指定数量の管理(今回加工課が移転したが対象外) 	○
7.PRTR法(化管法第5条)	灯油に含まれるキシレンと1,2,4-トリメチルベンゼン	<ul style="list-style-type: none"> ●化学物質の適正管理(環境汚染の防止)(化学物質の移動量・排出量等の把握) ●特定化学物質取扱量の報告 	○
8.PCB特別措置法	PCB廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ●保管状況の届出(毎年6月末迄) 該当廃棄物保管無し	○

最終処分場における廃棄物処理確認は事情により実施出来ませんでした。

関連法規制等の遵守状況の評価の結果、法規制の逸脱は過去3年間ありません。

また関係機関からの指摘および利害関係者からの苦情、訴訟は、過去3年間ありませんでした。

全体的評価と見直し

環境管理責任者

社内にてエコ活動が定着し、環境経営方針も浸透してきており、廃棄物はリサイクル等の置き場を作り廃棄物のリサイクル化活動を積極的に行い、水使用量は日々のチェックにて水量の変化を捉える事で水使用量・廃棄物は削減傾向となりました。

電力使用量、二酸化炭素排出量は前年度より生産量が多くなった事で増加傾向になってしまいましたが、歩留り改善により生産数量が約470万本(年)増加しましたが、製品スクラップ量は4万7千本削減出来、環境経営に寄与できたものと思われます。

今後も全員参加のエコ活動を行い、環境経営に貢献していきたいと思ひます。

環境総括責任者のレビュー

当年度は、Covid-19による中国ロックダウンの影響があり、工場の生産体制も不規則で、電気、CO2は残念な事となりましたが、他分野については良くやったと思ひます。

次年度は、古くなったエアコンの省エネタイプへの入替、電気回路の見直しによる小区分での入切を検討してまいります。